

Kandai Style

2017.3 Vol.457
関西大学通信

卒業記念特別号



今月の表紙：卒業される皆さん

卒業記念特集

君に届け!
卒業ソングを贈ります

130
KANSAI
UNIVERSITY

君に届け!

卒業ソングを贈ります

今年の卒業記念特集は「卒業ソング」
先輩から後輩、後輩から先輩に。
家族、友人、そして自分に。
いろいろな想いを込めて贈る卒業ソングを
4ページにわたり紹介します。

『卒業』

尾崎 豊

映画研究部では、脚本作りから監督・キャスト集め・演出までを行い、自主映画を作っています。この曲は入部した頃、先輩がカラオケで立ち上がって大熱唱していたので印象に残っています。以前から知っていましたが、曲自体は「支配」「大人」という単語のイメージが強く、歌詞の内容も自分には関係ない一昔前の歌と思っていました。しかし先輩の卒業間際に、この歌のイメージが変わりました。この歌の「卒業」とは、これまでの学校のルールや規則を卒業し、自分で道を決め、社会に出るということで、自分の成長について歌った曲ではないかと感じるようになったのです。卒業する先輩の応援とともにこの歌を贈りたいと思います。

文化会 映画研究部
社会学部3年次生 西村 拓馬さん

『明日へ続く道』

作詞：星野 富弘
作曲：千原 英喜

毎年1年かけて手掛ける曲集があり、曲集は4曲で成り立っています。この曲は先輩が選んだ4曲のうちの1曲です。もともと合唱がやりたいという目的で入部したわけではなかったのですが、活動の取り掛かりにこの曲を歌った際は、暗くて自分がバスパート（低いパート）なこともあり、当初はつまらなく感じていました。でも、指揮者をして先輩から指導を受けたとき、表現の仕方や曲のイメージのさせ方が上手く、分かりやすかったおかげで合唱の面白さが分かり、合唱に向き合えるようになった曲となりました。パートが違うのに、個人的にも指導してくれた先輩。これからはストレスなく頑張ってもらいたいと思います。また一緒に歌いましょう。

文化会 グリークラブ
外国語学部2年次生 平田 大祐さん

『Stay Gold』

Hi-STANDARD

卒業するクラブの先輩方にHi-STANDARDの『Stay Gold』を贈りたいです。Hi-STANDARDは先輩も好きな日本のパンク・ロックバンドで、代々2部軽音ではHi-STANDARDをコピーして演奏してきました。その中でも特に『Stay Gold』は特別な曲で、ライブで演奏してもかっこよく、部員全員が盛り上がり、一体感が生まれる定番の曲です。この曲は英語の歌詞ですが、サビ部分の「僕は君が言ってくれた言葉を忘れないよ。君は僕に輝き続けろと言ってくれたね」という歌詞が印象的です。自分がクラブに入るきっかけをつくってくれ、クラブ内で輝いていた先輩に、卒業しても輝き続けてほしいという思いと、先輩のように自分も輝く存在でありたいと思いこの曲を選びました。

文化会 軽音楽部
文学部3年次生 榎本 一輝さん

『旅立ちの日に』

作詞：小嶋 登
作曲：坂本 浩美

交響楽団での私の役割は、指揮者の目指す演奏を部員に伝え、部員それぞれのやりたい演奏を指揮者に伝えるコンサートミストレスです。部員の人数が多いこともあって、みんなの気持ちを一つにすることがなかなか難しいと感じています。部員に言いにくいことがあったとき、先輩たちが代わりに伝えてくれたり、相談ののって来て、本当にありがたいなって感じました。12月に開催した定期演奏会では、『チャイコフスキー5番』を演奏しました。この曲は単調なリズムが多いので、普通に演奏すると面白みのない曲になってしまいます。それが、自分で言うのもなんですが、定期演奏会では名演になりました。先輩の協力がなければ、この成功もなかったと思います。その先輩たちに、小・中学校の卒業式で歌った思い出深いこの曲を、感謝の気持ちを込めて贈りたいです。

文化会 交響楽団
社会学部3年次生 宮崎 優さん

『花の名』

BUMP OF CHICKEN

この曲は、高校の時に合唱用に編曲して歌ったことがありました。歌詞が良く、感謝を歌った曲であり応援歌です。3年次生の人数が少なく、先輩にはクラブの運営・進行がうまくいかなかったときにとてもお世話になりました。昨年末に行われた定期演奏会を無事に終えることができたのもその先輩のおかげで、感謝の気持ちでいっぱいです。クラブの運営で私が悩んだように、先輩も悩んだことがあったと思います。また、これから辛いこと、苦しいことがあったら、歌っている時は楽しかったと思うので、その気持ちを思い出してほしいです。先輩方にお世話になったこと、一緒に演奏したことは一生忘れないという思いをこの曲に託します。

文化会 混声合唱団ひびき
法学部3年次生 上柴 史子さん

『和春調』

『和春調』は、関西大学の邦楽部だけに残っている伝統ある曲です。入部して初めに演奏する曲で、部内で知らない人はいません。これまで琴をしていたのですが、大学では尺八に挑戦し、4年間尺八パートに属しました。新入部員に教える曲のため、春になるとこの曲を思い出し、今ではすっかり体に染みついていました。明るくゆったりとした調子で始まり、初心者でも出しやすい音が連なる曲ですが、中盤は慣れている人でも息切れするくらいのアップテンポになるので、何度演奏しても飽きがこない奥深い曲です。これまで受け継がれてきた伝統のある曲なので、多くの人に知ってもらいたいですし、これからも伝統を引き継いで弾いてほしいです。

文化会 邦楽部
文学部4年次生 戸田 有咲さん

『青い蝶』

秦 基博

この曲を、少し疲れたなと感じたときに聞くと気持ちが癒やされて、一人じゃないと思えます。詞の世界観と、秦さんの伸びやかな声や歌い方にポジティブさを感じて、包み込んで引っ張ってもらっているような気持ちになります。私はギタークラブの部長をしていますが、部長の務めは資料を読んでいるだけでは分からないことが多いです。部長だから何でも1人でしなければいけないと思い込んでいたころ、前部長をしていた先輩が、私と同じ目線で一緒に悩み考えてくれ、とても心強く感じました。先輩たちは、これから社会に出て、大変なことがたくさんあると思いますので、少しでも力になりたいという気持ちでこの曲を選びました。

文化会 ギタークラブ
政策創造学部3年次生 濱走 内記さん

『あの鐘を鳴らすのはあなた』

和田 アキ子

ぱっと浮かんだ曲ですが自分の中では「友情」のイメージで、率直に「あなたに会えてよかった」という気持ちを感じる曲です。これから頑張ってもらいたいというエールと感謝の気持ちを込めました。

全国大会出場に向けてアドバイスや精神面で支えてくれた先輩。その練習にも熱心に付き合ってくれました。自分が部長になったときも、部長ならではの悩みや誰にも相談できないことを受け止めてくれてとても助かりました。聞いてくれるだけでした。存在が頼もしかったです。

これまで一緒にいて、言葉で伝えなくても伝わる関係性が築けていると思います。この曲を贈ることを、先輩は恥ずかしいとネタにするかもしれませんが、笑いは一切なしであなたに会えてよかったです。

文化会 語学大学
システム理工学部3年次生 増永 栄司さん



『CONFIRMATION』

チャーリー・パーカー

『CONFIRMATION』は、新入生へのお披露目ライブや合宿などの行事の最後に、「コンファメしましょうか」の合言葉で、必ず演奏する曲です。CONFIRMATIONという言葉には、確認や堅信礼の意味があって、私にとってはジャズが好きであることを再認識するような、仲間意識を強める曲です。ジャズは演奏時間40秒程度の楽譜が1枚あるだけで、10分ほど続く曲のほとんどは個々の即興です。ですから、同じ演奏は2度とありません。行事のたびに演奏している曲ですから、「去年はこうだったな」とさまざまな情景を思い出します。毎年、卒業式の翌日に行う卒業生とのセッションでも演奏していて、そこで演奏するのは今年を含めて残り2回。先輩に感謝の気持ちを込めて演奏します。

Jazz 研究会
経済学部3年次生 佐藤 洸さん



『銀河鉄道999』

ゴダイゴ

サークルの定番曲で皆大好きです。吹奏楽は、普通は座って演奏しますが、この曲はスタンドプレイが多く、各パートの振り付けや見せ場があります。弾きながら楽器を上にあげて角度を変えたり、お辞儀をしたりなどの動きをつけ、皆すごく楽しそうです。中でも歌詞を皆で合唱する部分が私は一番好きです。

この曲を最初に演奏しようと言ったのが、すでに卒業している2年上の先輩で、それ以来曲も振り付けもほぼ変わらず引き継がれています。先輩はパートが違うのにもかかわらず、演奏の指導もしてくれ、演奏も上手で、知識もある憧れの存在でした。先輩が1年次生のときに発案して以来、練習や定期演奏会など、何回も演奏する曲になり、大阪マラソンの沿道での応援でも演奏しました。今ではサークルに欠かすことができない曲です。

吹奏楽サークル Bis
社会学部3年次生 前川 咲さん



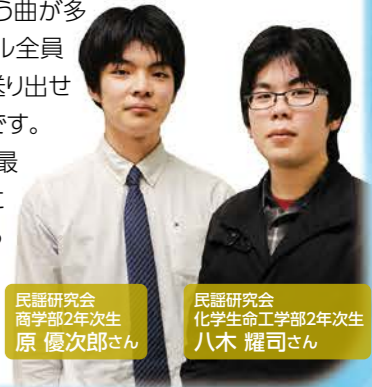
『Goodbye To Romance』

オジー・オズボーン

民謡研究会という名前ですが、30年くらい前からメタル・ハードロックのバンドのコピーもしています。ヘビーメタル界の伝説的歌手オジー・オズボーンの『Goodbye To Romance』は、今回卒業する先輩が、自分達の2年上の先輩を送る際に卒業ライブのエンディングで演奏した曲です。先輩がアコースティックギターで演奏していたのを見て感動し、自分たちも先輩を送る時はこの曲を演奏したいと思いました。メタルは一人で歌う曲が多いのですが、この曲はサークル全員で歌っても形になり、全員で送り出せた感があってとても良かったです。演奏中はこれで先輩とは最後なんだと寂しい気持ちになりましたが、演奏して良かったと思いますし、先輩も感動してくれたと思っています。

民謡研究会
商学部2年次生
原 優次郎さん

民謡研究会
化学生命工学部2年次生
八木 耀司さん



『虹』

AAA

この曲は、私が高校3年生で、大学入試に行くときにいつも聞いていました。歌詞の一つ一つが前向きで心に響き、背中を押してもらっているかのようでした。

今この曲を聞くと、4年間の学生生活が思い出されて、懐かしい気持ちになります。所属していたサークルには、さまざまな活動と一緒に取り組んできた同級生がいます。全員進路がバラバラで、私の就職先も関西ではないので、今までのようにみんなと会えません。

寂しい気持ちも大きいですが、仲間にもこの曲を聞いてもらって、学生時代の楽しかったことを思い出したり、みんな離れているけれど一緒にがんばっているような気持ちになってもらえたらうれしいなと思っています。

関西大学高槻放送局 [KTBJ]
総合情報学部4年次生 森本 泰英さん



『終わりなき旅』

Mr.Children

大学4年間では、落ち込むことが多かったように思います。就職活動においては紆余曲折あり、秋から再開することになりましたが、なんとかIT関係の企業に内定をいただくことができました。法学部祭典実行委員会では委員長を務めましたが、大変なことが多く、心が折れそうになるところがありました。自分の至らない部分から、楽しいはずのことがストレスに感じてしまうときがありました。ちなみに恋愛では、5人の女性にふられてしまいました。そんなとき、この曲を聴いて「高い志をもって進んでいこう」という気になりました。そんな風に僕を支えてくれたこの曲を、周囲の全ての人たちに感謝の気持ちを込めて贈ります。

法学部4年次生
吉田 和樹さん



『Today』

ジジ・リオン
梁詠琪

この曲は私が故国の香港の小学校を卒業するときに会場で流れた曲です。歌っているのは、香港を中心に歌手・女優として活動している梁詠琪です。彼女が透き通るような声で歌う落ち着いたバラードは、いつも私の心を癒やしてくれます。大学に進学後も時々聞いています。「今別れても、いつかまた会える」という意味の歌詞も印象的です。卒業後は東京の不動産会社で働きますが、就職活動は大変でした。心が折れそうなときに励ましてくれたのが、周りの友人たちでした。香港の母は、私が日本で働くことになり寂しがっています。私を支えてくれるみんなに、「いつでもまた会えるよ」とのメッセージを込めてこの曲を贈ります。

商学部4年次生
施 美欣(シ・メイヤン)さん



『365日の紙飛行機』

AKB48

私はこの大学に進学してさまざまなことに挑戦しました。ゼミ活動で全国で初めての本格的な「商店街ウエディング」を成功させ、NHKが夜の全国ニュースで取り上げてくれました。また台湾へ留学し中国語が話せるようになったおかげで、大阪の田舎の町に外国の方が爆買いに来る意外な理由が分かりました。こうした体験から、学生にとって大切なのは、所属大学の名前や所属サークルなどの肩書きではなく、何をどんな風に体験し、どんなことを得たのか、ということだと気付きました。この曲の歌詞には「紙飛行機の飛んだ距離よりも、どんな風に飛んだかが大事なんだ」という意味が込められています。今までの私とこれからの私に、この曲を贈ります。

政策創造学部4年次生
小林 春奈さん

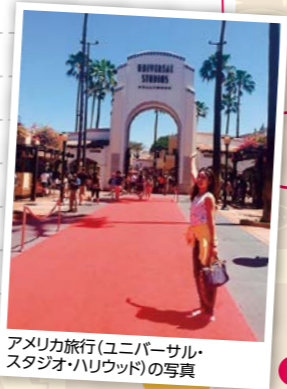


Name
 サントリー酒類株式会社
 東京支社
上野 莉奈さん
 2012年 社会学部卒業



入社後は小売店営業、卸売業者営業を経て、現在は、社内女性初の東京エリア飲食店営業に挑戦しています。経験不足と土地勘のなさに苦労しつつ、昼は商談、夜は飲食店への営業に飛び回る毎日です。当社の利益だけを求めるのではなく、顧客である飲食店の売上や集客力も向上し、双方がWin-Winになる関係を目指しているため、飲食店のメニュー提案や従業員研修まで、コンサルタントに近い仕事をしています。仕事や情報はとめどなく入ってくるので、うまく処理できずため込むとストレスの原因に。私の場合、アポイントの間に1人で整理する時間を確保して、タスクを漏れなく書き出し、1件1件迅速に処理するよう心掛けています。もともとオンオフの切り替えはできるタイプですが、体力勝負の仕事ですので、土日で体の疲れとストレスを完全にリセット。旅行やカフェめぐり、同期との食事で発散しています。

新入社員は、まず素直であることが一番。営業職というと、一方的な営業トークのイメージがありますが、職種にかかわらず、相手の立場に立って考えや要望を聞き出すことも大切です。自分の強みを生かせる仕事のスタイルをぜひ見つけてください。



アメリカ旅行(ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド)の写真

誰もがストレスを抱える現代社会において、うまくストレスと付き合い、解消する方法について、社会で活躍する卒業生にインタビューを行いました。

みんなで一緒に考えよう。
関大誌上教室

社会人の
ストレス

解消法

Name
 近畿財務局
 管財部(財務専門官)
谷口 貴哉さん
 2015年 文学部卒業



財務局では、国の庁舎や宿舍、国有財産などの国有地管理処分業務を担当しています。職場の人間関係が非常に良く、上司や同期の仲間に助けをもらいながら仕事を覚えました。社会人2年目に入る頃に、ようやく仕事とプライベートとのバランスが取れるようになったと思います。希望していた仕事に就けたこともあり、毎日楽しく充実しています。仕事で行き詰まることもあります。そんな時は先輩や同期と食事に行って相談し、小まめに息抜きをするようにしています。

昔から洋服が好きで、休日には学生時代の友人とお気に入りのショップに行き、買い物を楽しみます。「これを買ったからまたがんばろう」と思えるので、買い物は私にとってストレス発散であり、がんばるためのエネルギーです。

社会人になってから感じるのは、自分一人だけでできる仕事は限られているということ。仕事でもプライベートでも、人と人のつながりが大切ですので、学生時代の友人など、どんなことでも話せる人間関係を大切にしてほしいと思います。



お気に入りの洋服

Name
 河北新報社
 秋田総局
藤澤 和久さん
 2014年 ガバナンス研究科修了



地方紙の記者をしています。話を聞き、写真を撮り、原稿を書く。分かりやすい記事にするため悪戦苦闘する日々です。

私のストレス解消法は、ローカル線と市場を巡ること。休日は時間を気にせず、のんびり出歩いています。お気に入りの日本海沿いの断崖絶壁を走るJR五能線と、雪深い秋田県の内陸部を貫く秋田内陸線です。2時間半〜4時間の車中、本を読んだり酒を飲んだり景色を見たり。途中で降りて、駅前の商店で焼いている一夜干しのイカをつまみながら店主の女性と喋るのは至福のひとつです。市場は知らない食材の宝庫です。12月しか捕れない子持ちの魚「ハタハタ」に馬肉煮込み。七草がゆしか知らなかったセリを根ごと鍋に入れるのはたまげました。百聞は一食にしかず。太る原因はストレスよりもおいしいものの食べ過ぎだと、最近気づきました。

特に社会人1年生は叱られたりなど慣れないことばかり。愚痴をこぼす相手とストレス解消法を見つけ、乗り越えましょう。



Name
 兵庫県職員
 県土整備部
森田 仁也さん
 2009年 工学部卒業



道路保全課に所属し、歩道整備などの交通安全事業を担当しています。具体的には県内に存在する歩道未整備道路での歩道設置や、歩行者用のエリアだと識別するためのカラー舗装など。車、自転車、歩行者を分離し、安全な道路を増やす目標設定や、県内における交通安全事業の進捗管理、予算決めなども行っています。実際に現地を歩いたり、自転車に乗って安全性を判断することもあります。人が当たり前で安心・安全に通ることができる道路を造り続けたいと思っています。

高校時代の野球経験を生かして、今でも職場の野球チームに所属しています。毎年夏に約20チームが集まる野球大会が開催されるので、試合が近くなると毎週練習に励みます。一昨年は練習のこいもあって優勝することができました。また、週末はラグビーを習い始めた子供の練習に付き添って、グラウンドを走ったりコーチの手伝いをしたりするなど、体を動かすことがストレス解消につながっていると感じます。

会社のルールをいち早く学び、めりめりを付けて仕事に取り組んでほしいと思います。付き合い残業をしないような、心の強さも必要ですね。



右端が森田さん



OPINION OF PROFESSOR
社会安全学部 土田昭司教授

ハーバード大学ケネディ政策大学院に、Jennifer S. Lerner教授がいます。彼女は現在50歳前後ですが、政治学や危機管理などを専門とするケネディ政策大学院で終身地位保証(tenure)教授となった初めての心理学者です。Lerner教授に、職業人にストレスによって増加するホルモンを測定する検査キットと日記を渡して、毎日

検査とその日の出来事を記録してもらった結果、ストレスによる悪影響を最も受けるのは中間管理職だと明らかにした研究があります。若い卒業生の皆さんはうまくストレスを解消する方法を見つけているようです。ストレスに対処するには、バラエティ豊かな視点や考え方は生活様式を持つことが有効です。何よりも、ほんの小さな幸せであっても、日々の生活に楽しいと思える瞬間を持つ姿勢が大切です。Lerner教授の研究によれば、出世をして部下ができれば上司の命令にも従わなければならない中間管理職になるともっとストレスに悩まされることになります。自分なりのストレス解消法を身に付けましょう。

次回のテーマは…「先輩から学ぶ! アルバイトの選び方」

新入生をはじめ、これからアルバイトをする学生のために、先輩がアルバイトの選び方や学業との両立方法を紹介します。

関大は100年前からエコだった

校舎も本館も再利用

関西大学は100年前から「エコ」だった。本学は昨年、創立130周年を迎えましたが、その歴史をひも解くと、「もったいない」の精神で古い建物を再利用し、結果的に環境への負荷を軽減していたことがわかります。その一端を紹介します。(写真はいずれも関西大学年史編集部提供)

江戸堀校舎の竣工

~~~~~

1886年(明治19年)、大阪西区京町堀の願宗寺で設立された関西大学の前身、関西法律学校から、1922年(大正11年)大学令による大学昇格を果たすまでの36年間は、本学の基礎を築いた「創立の時代」と言えます。学生の増加に伴い校舎の充実が急務でした。1903年(明治36年)西区江戸堀に江戸堀校舎が竣工しました。新校舎は瀟洒なスタイルの洋式木造2階建てでした。教室は3部屋設置され、それまでのランプの薄明かりは姿を消し、電灯線が引き込まれて、電灯の輝く近代的な教室での授業が始まりました。

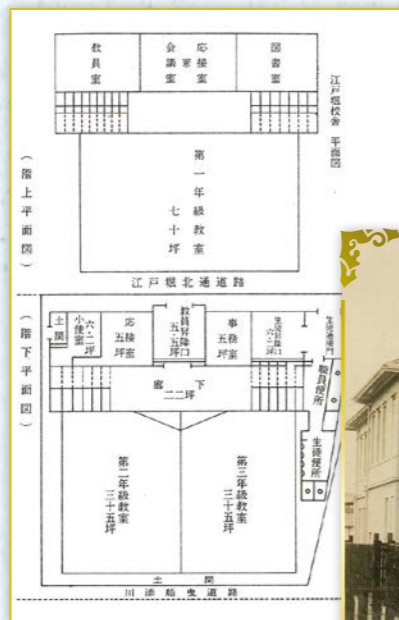


江戸堀校舎

### 思いがけない申し出と移築

~~~~~

ところが2年後、思いがけない申し出が大阪市からあります。市電を敷設するので、その用地として江戸堀校舎の敷地を提供せよというものでした。当時大阪市は人口急増中で、交通網の整備が急がれていましたから、むげに断るわけにもいきません。そこで新たに北区上福島に用地を求め再移築することになりました。当時、学生数は1,000人近くに増えていましたから、土地も江戸堀時代の7倍近い広さを確保しました。草創期ですから、「もったいない」精神で、江戸堀校舎をそっくり移築したのは、ごく自然な成り行きだったようです。現存する江戸堀校舎と福島学舎のセピア色の写真を見比べると、撮影の方向は異なりますが、同じ木造2階建てで、窓の構造も酷似しています。



移築された江戸堀校舎の平面図

福島学舎



困った仮校舎

~~~~~

この時の移転で困ったのは、1,000人の学生を収容する仮校舎です。授業を休むわけにはいきませんから、八方手を尽くして探し、ようやく格好の建物を見つけました。それが天王寺美術館です。1903年(明治36年)に天王寺で第5回内国勲業博覧会が開かれました。150日間で約435万人が訪れた大規模なものでしたが、この時の美術品展示会場として作られた建物が天王寺公園内に空き家として残っていたのです。延べ1千坪を超える木造2階建てで、立派な仮校舎といえます。



住友合資会社本社

### 千里山学舎の本館は元住友合資会社

~~~~~

その後1922年(大正11年)に、現在の千里山学舎が竣工し、1927年(昭和2年)千里山に大学本館が完成しました。この本館も新築ではなく移築でした。寄贈したのは住友財閥です。東区北浜にあった住友合資会社の社屋を本学が譲り受けたのです。現存する写真を見ると、住友合資会社は一部3階建てで3階部分は八角形のドームになっており、移築後の本館にも八角形ドームが再現されています。



大学本館

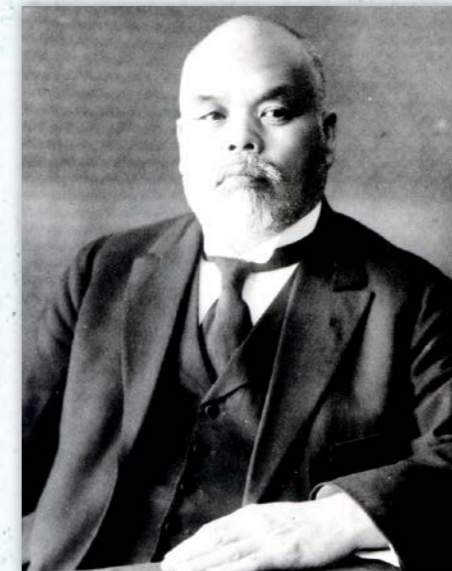
山岡学長と「学の実化」

~~~~~

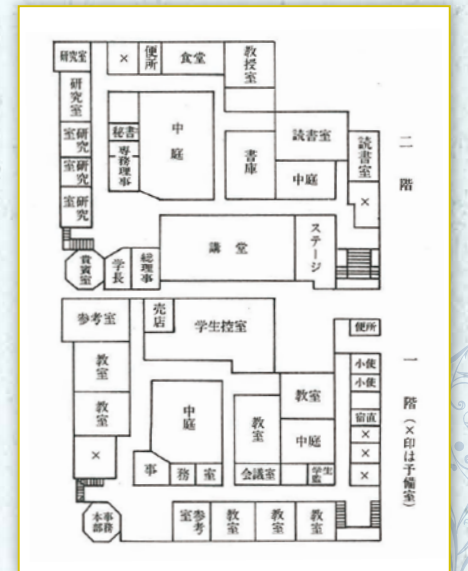
この移築の斡旋で重要な働きをしたのが、当時の山岡順太郎総理事で、その後、本学に大きな足跡を残します。

山岡は石川県出身。陸軍士官などを経て実業界に入り、大阪商船株式会社(現:株式会社商船三井)の基礎を築きました。その後、大阪鉄工所を再建したり、日本電力社長を務め、大阪商業会議所会頭も務めました。この頃から関西大学との関係を深めました。

その後1923年(大正12年)に、学長を兼務した山岡は、いかにも大阪の大学らしい指導理念を打ち出します。本学の学是となった「学の実化」という概念で、「学理と実際の調和」「国際的精神の涵養」「外国語学習の必要」「体育の奨励」の4つを融合させ、従来のアカデミズムに飽き足らず、実際に役立つ知識を大学で教えることを求めました。



山岡 順太郎



完成した大学本館の平面図



# 学部・研究科トピックス

## 法学部／法学研究科

### 卒業おめでとうございます

教員になった当初、自分の受け持った学生が無事に就職先や進学先を決めて卒業してくれば、それで十分だと思っていました。学生も入れ替わり、卒業生のことを考える余裕もなかったのだと思います。ただ、連絡をくれたり、集まる機会を作ってくれたりする卒業生もいて、卒業後の状況を知ることが増えました。頼もしく思うこともあれば、心配になることもあります。卒業後、思うようにいかないこともあるかもしれません。それでも、みなさんのことを気に掛ける人がいることを覚えておいてください。

(入試主任 上田真二教授)

## 文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

### 卒業すること、しないこと

卒業生の皆さんは、本学の卒業に併せてほかのさまざまなことから「卒業」されるのではないのでしょうか。親への経済的依存からの卒業だったり、子ども時代の甘えからの卒業だったり。しかし「学ぶこと」からは決して卒業しないでください。皆さんはあらゆる専門的知識の基礎をなす総合人文学を修めました。この基礎の上でのさらなる学びこそが、皆さんの職業生活、社会生活、家庭生活をより豊かなものにしてくれるでしょう。皆さんの今後のご活躍を期待しています。

(副学部長 多賀太教授)

## 経済学部／経済学研究科

### 自信を胸に、新たな挑戦を!

ご卒業おめでとうございます。4月からの新生活を控え、希望に満ち溢れておられることでしょうか。皆さんは、関西大学経済学部においてきちんと卒業論文を書き上げた人々です。執筆に当たっては、先行研究を調べ、自分が何をできるか・やりたいかを考え、それに対してどのようにアプローチすれば良いのか、など多くの時間とさまざまな努力をされたことと思います。この貴重な経験をぜひ覚えておいてください。困難にぶつかった時にも、この自信がきっとあなたを奮い立たせてくれることでしょうか。

(学部長 谷田則幸教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

## 商学部／商学研究科

### 商学部卒業生の皆さんへ

商学部の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。商学部では、さまざまなビジネスの現場に対応できる人材を育成するように多数のプログラムを提供してきました。皆さんはどれくらいそれを活用できたでしょうか。今振り返ってみれば、充実感・達成感があれば、悔いや反省もあったことでしょうか、在学中に「自ら考え実践する」という能動的な働きかけを学んでもらっていたとすればうれしい限りです。卒業後の新しい人生での皆さんの目覚ましい成長と活躍を心からお祈り申し上げます。

(学部長 乙政正太教授)

## 社会学部／社会学研究科

### まじめさを胸に

この4年の間、第3学舎では改修工事が進み、駅からの新たな通路も開かれました。次にこの学舎を訪れたときには、さらに大きな変化を目にされることになるかもしれません。学生や教員が入り替わり、建物の姿が変じて、揺るがないものがあります。いや、揺るがないでほしいと願うことがあります。それは学びに対するまじめさです。創立50周年を迎える社会学部は、そのまじめさを保ち続けてきました。この学舎に学んだ人々なら、大学を離れた後も大切にしてくれると信じます。

(学部長 永井良和教授)

## 政策創造学部／ガバナンス研究科

### 卒業生の皆さんへ

卒業おめでとうございます。政策創造学部に入學してからは、これまでとは違う大学での学びに戸惑いながらも、同級生はもとより、先輩、後輩と切磋琢磨して、さまざまな事にチャレンジしてきたと思います。自分自身では気付かないかもしれないかもしれませんが、皆さんは大学生活を経ることによって、間違いなく成長しています。今後社会で直面する困難にも、大学生活で得た力を発揮すれば乗り越えられます。時には休むことも必要ですが、大学時代を思い出しながら、チャレンジし続けてください。

(副学部長 西澤希久男教授)

## 外国語学部／外国語教育学研究科

### ありがとう

皆さんの入學年に着任した私には、留学前の姿を知る学生を初めて送り出す感慨があります。受験から解放される間もなく留学準備にいそしみ、留学では言語以外にも多くのことを経験から学び、その経験の意味を研究や就職や専門技能など形ある実りにすべくもがいた3、4年次を経て、卒業を迎えた今の皆さんの姿は、仮にまだそれが十分な形になっていなくとも、紛れもない成長の証であり、私たち教職員の誇りです。ありがとう。ご卒業おめでとう。またどこかで会おう。

(副学部長 今井裕之教授)

## 人間健康学部／人間健康研究科

### なぜ学ぶ?

皆さんは人間健康学部で十分に学ばれたでしょうか? 「なぜ学ぶか」について、生物学者の福岡伸一教授は、「自由になるため」と答えておられました(2011.11.19 本学での講演にて)。私たちは、「学び」を通して多くの「知」と出会い視野や世界観を広げます。その過程で多くの「人」や「場所」との出会いがあり、チャンスやチャレンジの機会が増えます。それこそが「自由」。これからも学び続けてください。永遠に自由の人であれ! 卒業、修了おめでとうございます。

(副学部長 原田純子教授)

## システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

### 理工系を卒業・修了するにあたり

今年はシステム理工学部約500人、環境都市工学部約300人、化学生命工学部約350人の学部生と理工学研究科約400人の大学院生が修了します。本当に卒業・修了おめでとうございます。大学に入學してから最初の3年間は高校時代とあまり変わらない、知識を吸収することが主であったことでしょうか。しかし、4年次生以降は知識の吸収も必要ですが、それ以上に自分のやっていることが世界の最先端であり、まだ誰も答えを見つけていないことへの挑戦であったはず。すなわち、自分た

ちが新たなシステム、概念、現象、機能、物質、分子などの発見者であり創造者であったはず。それまでの答えがあった世界から、答えがあるのかわからないのかさえ分からない世界で研究することは楽しみであると同時に苦しみであったと思います。しかし、これから実社会に出ていくと何が正しくて何が間違っているのか。その方法が一番いいのか、ほかの方法がいいのか。それこそ答えのない、もしくは答えが一つでない世界での本当の戦いが始まります。研究や技術に関することだけでなく、人間関係などさまざまな問題が起こること

でしょう。それら問題は一人で解決できることもあれば、他人の力が必要なこともたくさんあります。そんな時、関西大学にはたくさんの知恵を持った教職員がいます。同じ時間を過ごした仲間として、いつでも相談に来てください。また、大学院へ進学される方は、今後も我々の共同研究者として一緒に未知なる世界を楽しみましょう。

(化学生命工学部副学部長 青田浩幸教授)

## Attention 大学からの重要なお知らせ

### 2017年3月31日をもって関西大学を去られる専任教育職員を紹介します。

|      |        |
|------|--------|
| 法学部  | 栗田 和彦  |
|      | 竹下 賢   |
|      | 福瀧 博之  |
| 文学部  | 山野 博史  |
|      | 宇佐美 幸彦 |
|      | 関屋 俊彦  |
| 経済学部 | 松浦 章   |
|      | 森 隆男   |
|      | 佐藤 真人  |

|          |        |
|----------|--------|
| 経済学部     | 壽里 竜   |
| 商学部      | 鶴田 廣巳  |
| 外国語学部    | 平田 渡   |
|          | 福井 七子  |
|          | 山西 博之  |
| 総合情報学部   | 青山 千彰  |
|          | 黒葛 裕之  |
| 社会安全学部   | 秋山 まゆみ |
| システム理工学部 | 前田 亨   |

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 環境都市工学部         | 三宅 義和   |
|                 | 盛岡 通    |
| 化学生命工学部         | 荒川 隆一   |
| 国際部             | カイト 由利子 |
| 法科大学院(法務研究科)    | 松本 哲泓   |
|                 | 三浦 潤    |
| 会計専門職大学院(会計研究科) | 山中 敬一   |
|                 | 坂口 順也   |

(敬称略)  
大変お世話になりました。ありがとうございました。

# 関大トピックス

## 卒業生の皆さんへのお知らせ

### ■校友としての図書館利用について

卒業生の方は、手続きをすれば卒業後も関西大学の図書館を利用できます。詳しくは図書館ウェブサイトの「卒業生・学外の方へ」(<http://opac.lib.kansai-u.ac.jp>)をご確認ください。

問い合わせ先 図書館メインカウンター  
電話:06-6368-0266

### ■「進路決定報告」と後輩の就職支援サポートにご協力ください

卒業後の「進路決定報告」がまだの方は、至急キャリアセンターまで報告をお願いします。その際、OBOG訪問の同意の可否については、後輩の就職活動をサポートするためにも、同意のご協力をお願いします。

なお、卒業後も就職活動を続ける卒業生へのサポートも、引き続き行っています。気軽に相談してください。

問い合わせ先 キャリアセンター／卒業生就業支援室  
電話:06-6368-0345

### ■資格取得で卒業生のキャリア形成を支援

エクステンション・リードセンターでは、各種資格取得を通して皆さんのキャリア形成をサポートするために、一般の方より安価な卒業生料金で受講できる対策講座を多数開講しています。思い立った際には、ぜひエクステンション・リードセンターへ詳細をお問い合わせください。

また、今夏から社会人対象のUCLA Extension 提携オンライン講座がスタートします! 詳細は<https://www.kansai-u.ac.jp/extension/unexonline/>をご確認ください。

問い合わせ先 エクステンション・リードセンター  
電話:06-6368-0721

### ■奨学金の返還について

奨学金の貸与を受けていた皆さん宛に、返還の期日が近づくと、「振替案内」などが送付されます。返還関係書類が届かないことがないよう、卒業後に住所・氏名・連帯保証人の変更などがあれば、変更届を提出してください。皆さんからの返還金は、後輩の奨学金として直ちに利用される仕組みとなっている事を理解いただき、延滞のないよう注意してください。

問い合わせ先 奨学金支援グループ  
電話:06-6368-1121 (大代表)

### ■卒業後もセミナーハウスを利用できます

卒業後も校友となる皆さんは、関西大学のセミナーハウスである彦根荘(滋賀県)、白馬梅池高原ロッジ(長野県)、六甲山荘(兵庫県)を利用することができます。利用を希望する方は、電話でお問い合わせください。関西大学のウェブサイトから、案内、利用状況を確認することができます。

問い合わせ先 関西大学教育後援会  
電話:06-6368-0055

### ■校友会の輪にご参加を

校友会は、約45万人の卒業生と在学生で組織され、会員の相互の親睦と母校の発展に寄与することを目的としています。校友会は、学生の学術・文化・スポーツの振興を積極的に支援し、また、さまざまな親睦行事も行っています。卒業後の皆さんの住所などは校友会が管理・運営し、大学と共同で利用します。住所が変わった場合には、校友会事務局までご連絡をお願いします。

問い合わせ先 関西大学校友会  
電話:06-6368-0045

## 人間健康学部の 安田典准教授ゼミが、 子供と家族・若者応援団表彰 「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞

人間健康学部の安田典准教授ゼミが、平成28年度「子供と家族・若者応援団表彰」において、堺市の推薦により「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました。

安田准教授ゼミは、大和川の水辺を利用して子供たちの自然体験・学習の機会を創出する「大和川水辺の楽校(がっこう)」の企画・運営に参画し、大和川の生き物観察、水質調査、清掃活動などを通じ、地域の子供たちが楽しみながら環境について学ぶきっかけを提供しています。また、2012年からは堺市の小学生・本学学生・田辺市民が交流する「熊野本宮子どもエコツアー」も実施し、堺市の子供たちに自然体験やキャンプでの宿泊体験等を通じた効果的な環境教育の場を提供するとともに、同市の地域活性にも貢献しています。

なお、堺市においても、これらの活動が評価され、平成28年度「堺市環境活動表彰」を受賞しました。



## 体育会サッカー部から3人が プロサッカー選手に

2017シーズンから体育会サッカー部の前川篤也さん(人4)がヴィッセル神戸に、石井光輝さん(政策4)がJリーグ・ガイナーレ鳥取に、清永丈瑠さん(経4)がレノファ山口に入団します。

前川さんは「将来の夢は世界で活躍する選手になることです。まずはヴィッセル神戸で試合に出場してチームに貢献し、日本代表を目指して世界で活躍できるよう成長します」と抱負を語り、石井さんは「感謝の気持ちを忘れずに、自分らしく謙虚にひたむきに努力していきたいと思います。そして、1日でも早くピッチに立ち、活躍している姿を見せ、ガイナーレや支えてくれた人たちに恩返しをできるように頑張ります」と述べました。最後に清永さんは「両親をはじめ、恩師、チームメイト、自分を今まで支えてくださった皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、応援してもらえる選手になるため、より一層責任を持ち、精進したいと思えます」と意気込みを語りました。



前川篤也さん



石井光輝さん



清永丈瑠さん

写真提供: 関大スポーツ編集局

## 関大 四方山話

よもやまばなし

## 「Amicus Plato, sed magis amica veritas」

プラトンは懐かし。されど、真実はなお懐かし。

法学部  
名誉教授

栗田 和彦



表題の言葉が誰のものかは知らないが、プラトンの門下生ないし学問を志す者の信条・覚悟をよく表している。師を敬愛する気持ちがいかに強固であれ、真理・真実を追求するには、時として、師を否定し乗り越えなければならぬ。

しかし、これは、学問の世界に限ったことではなく、一般社会においても妥当するであろう。人は、選択した道・分野において、優れた先人(以下、師という)に出会い、その師を目標にしながら、

研鑽・努力を重ね成長し、やがて(運がよければ、または、研鑽・努力次第では)、師を乗り越える時を迎える。

その時、何を思うかで、その人の値打ちは決まるのであろう。達成・満足感に酔うか、師を含む支援・援助者に対する感謝の念を新たにするかである。もちろん、後者でありたいが、意外に難しい。世のなか、前者のタイプがけっこう多そうである。卒業生の皆さん、心してください。

## 編集後記

今年の卒業特集号のテーマは、卒業ソングということでした。さまざまな思いの込められた曲が紹介されています。ということで、編集後記からも一曲。ウクレレの名渡山遼さんの「Enishi」です。この4年間、関西大学のキャンパスで縁あって出会ったさまざまな人々のことを思い浮かべながら聞いてみてはどうでしょうか。とりあえずはここでいったんお別れということになりますが、またいつかどこかで再び出会える日が来るといいですね。新しいステージでの皆さんのご健闘をお祈り致します。(広報委員・政策創造学部准教授 三枝憲太郎)



## 関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2017年3月15日(年9回発行)

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)